

2016 年度 ネットワーク形成事業助成 A “地域をつなぐ”プロジェクト申込書(一次選考用)要項

※ 本要項を事前にお読み頂いた上で、申込書のご記入をお願い致します。

I. ネットワーク形成事業助成 A “地域をつなぐ”プロジェクトとは

ネットワーク形成事業助成 A “地域をつなぐ”プロジェクトは、北海道において、さまざまな領域で直面する新たな社会的課題を解決するために、共通の目標に向かってさまざまな人々が、「プラットフォーム」を形成して分野横断的な「ネットワーク」を構築しながら、持続的な“地域をつなぐ”プロジェクトを推進し、自らが地域が必要とする新たな公益の担い手を目指す「プロジェクト」を支援します。

- ・「プラットフォーム」とは、「プロジェクト」を推進する主たる担い手(地域に生活する人々、学生、専門家、NPO、民間事業者等さまざまな方々)が共通の目的のために参画するチームのことです。
- ・「ネットワーク」とは、「プラットフォーム」メンバーが相互に結びつき、「プロジェクト」を推進するための新しいアイデアや機会を生み出し、それぞれの能力をいかに発揮できるような関係性のことです。

II. 助成の趣旨

助成対象分野についての領域・地域に限定はありませんが、共通するテーマは「生命科学(いのち)」です。「いのち」は人に関連する範囲のみならず、環境、動・植物や食、エネルギー、歴史・文化、地域社会、一次産業等の広い範囲を含みます。

III. 助成の要件

1. プロジェクトに関する要件

- (1) 社会的課題に「対応する」既存の事業の継続や量的拡大ではなく、新しい時代を「提起する」プロジェクトであること。
- (2) 2016 年度から始まり、2018 年度末までに自立を目指すプロジェクトであること。
- (3) もっぱら営利のみを目的としたプロジェクトではないこと。
- (4) プロジェクトの主要部分が外部委託ではないこと、また特定団体への資金援助ではないこと。
- (5) プラットホームメンバーが、分野横断的で広く開かれた構成であること。
- (6) 宗教活動や政治活動を行うことを目的とするプロジェクトではないこと。
- (7) 国や地方自治体の補助対象事業ではないこと。
- (8) プロジェクトに関して、アウトリーチ活動やホームページ・ブログ・ニュースレター・チラシ等を通じて、積極的に情報発信すること。

2. プラットホームメンバーが属している各団体の要件

- (1) 団体の組織が明確であり、活動に関する責任者(代表、会長、理事長等)が任命されていること。
- (2) 団体の運営に関する規約、会計に関する資料等を有すること。
- (3) 団体の構成員となるための条件が原則的に広く開かれていること。

IV. 助成金、助成期間

1. 助成金

- (1) プロジェクト1件当たり年間最大100万円
- (2) 3件の採択を予定

2. 助成期間

原則として3年間(2016年度～2018年度)の継続的助成

V. 助成金の使途

1. 助成が決定したプロジェクト推進のための経費
2. 使途の範囲、費目別の支出上限、各費目間の支出比率条件についての制限はありません。

VI. 選考について

1. 2段階方式

- (1) 選考委員会において、一次選考及び二次選考を行います。
- (2) **一次選考** : 申込書による選考を行い、二次選考に進むプロジェクトを選びます。
- (3) **二次選考** : プロジェクト代表者を含む若干名の方に、財団事務局へお越し頂き、選考委員との質疑応答をお願いします。

2. 選考から助成決定までの日程

- (1) **一次選考申込受付:2月1日(月)～3月20日(日) 当日消印有効**
- (2) 二次選考に進むプロジェクト発表:4月下旬までに、ご連絡致します。
- (3) **二次選考:5月15日(日)**
- (4) 助成決定プロジェクト発表:6月中旬(予定)
 - ※ 6月開催予定の理事会・評議員会で審議し、その決議を経て正式決定します。
 - ※ 採否結果と選考委員のコメントは、プロジェクト責任者に書面で通知します。
 - ※ 採否の理由等、選考に関わる内容に関してのお問合せには応じかねますので、あらかじめご了承下さい。
- (5) 助成金振込み:7月中旬(予定)

VII. 審査基準

1. 提案されたプロジェクトが、**本助成の趣旨**に合致しているか。
2. プロジェクトの**実施計画、収支計画**が適切か。
3. **プラットフォームメンバーの構成**が適切か。
4. **ネットワーク構築に意欲的**であり、ネットワークが十分に**多様な広がり**を持っているか。
5. 広く市民や地域社会に**新しい時代を提起する**プロジェクトであるか。

6. 波及効果や公益性等の面で、プロジェクトの成果が期待できるか。
7. ネットワーク形成事業助成から得られた成果の発信が期待できるか。(「アウトリーチ活動」)

Ⅷ. 一次選考の申込書要項、申込書について

助成が決定した場合、2016年9月7日(水)に開催する秋山財団贈呈式への出席を「必須」とします。当日の欠席が確定、或いは欠席を予定している場合には、申込前に必ず事務局へご相談下さい。

1. 申込書要項・申込書の入手方法

当財団ホームページからダウンロードして下さい。パソコンを使わない方は、当財団へご請求下さい。財団事務局の住所、電話番号等は、本要項をご覧下さい。

2. 受理No.の通知

- (1)「住所シールと 82 円切手を貼った」封筒(120×235 mm)2 通を申込書と一緒にご同封下さい。

住所シールには、プロジェクト責任者の「郵便番号」・「住所」・「プロジェクト名」・「氏名(様を付けて下さい)」をご記入下さい。また、住所シールの右上には、「ネットA」とご記入下さい。住所シールをお使いにならない場合は、手書きでも構いません。

- (2)2 通の封筒は、受理No.のお知らせと選考結果をお知らせする際に使用致します。

3. 申込書のセット

- (1)申込書は「6 部」(正 1 部、副 5 部)をご用意下さい。副 5 部はコピー可です。また、申込書の左上 1 箇所をホッチキスで止めて下さい。
- (2)「住所シールと 82 円切手を貼った」封筒(120×235 mm)2 通も忘れずにご同封下さい。
- (3)ご提出頂きました申込書はご返却出来ませんので、あらかじめご了承下さい。
- (4)プロジェクトに関連する付属資料等は不要です。必要な場合には当財団事務局よりご連絡致します。

4. 申込書の発送

- (1)当財団への発送に当たっては、簡易書留・宅配便・レターパックにて必ず配達記録の残る方法でお送り下さい。
- (2)FAX、E-mail での申込は出来ませんので、ご注意下さい。
- (3)送付先は、以下です。

〒064-0952 札幌市中央区宮の森 2 条 11 丁目 6 番 25 号
公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団事務局
ネットワーク形成事業助成A “地域をつなぐ”プロジェクト係 宛

5. 個人情報の取り扱い

申込書にご記入頂いた個人情報は、本助成事業の選考のみに使用します。ただし、助成が決定した場合にはプロジェクト内容、代表者氏名等を公表致します。

Ⅸ. 助成が決定した場合について

1. 協定書の取り交わし
プロジェクト代表者には、当財団と「協定書」を取り交わして頂きます。
2. プロジェクト訪問
プロジェクトに関する企画等のご案内を頂いた場合には、当財団の事務局や役員等が参画することがあります。その際に、現状や今後の見通し等についてお話をさせていただきます。
3. 企画書の提出
プロジェクトの実施については、事前に「企画書」を協定書の取り決めに従って、半年に1回ずつご提出頂きます。
4. 途中経過の報告
プロジェクトに関する「事業報告書」、「助成金報告書」を協定書の取り決めに従って、半年に1回ずつご提出頂きます。
5. 「アウトリーチ活動」への参画
当財団では、全道地域を対象として、若い世代、研究者、地域づくりの担い手、地元の教育機関、過年度受領者・受賞者等の連携を一層強化しながら、「アウトリーチ活動」を推進しています。「アウトリーチ活動」の会場となる地域で活動されている場合には、ご参画をお願い致します。
6. 原稿執筆
この助成に関して、メディアや行政等の外部機関から問い合わせがある場合には、プロジェクトに関する原稿の執筆をご依頼致します。
7. 『秋山財団年報』への寄稿
当財団では、前年度の事業を総括する『秋山財団年報』を毎年度発行しています。この年報に原稿の執筆をお願い致します。
8. 最終報告書の提出
3年間に亘るプロジェクトが終了した後、「最終報告書」をご提出頂きます。

Ⅹ. 申込書提出上の注意点

1. パソコン入力のフォントはMSゴシック・9～10.5ポイントを基本とし、英数字は半角として下さい。
手書きの場合は黒インクを使い楷書でご記入下さい。
2. 申込書の余白や文字数・行数の設定を変更しないで下さい。
3. 各項目は、そのページに収まるようにして下さい。
4. 各項目の下にある【メモ】には、何もご記入しないで下さい。
5. 記載する年はすべて西暦でご記入下さい。
6. 申込書は片面印刷として下さい。

XI. 申込書記入上の注意点

※ 当財団で設定した各項目・タイトル・レイアウトは変更しないで下さい。

A. プロジェクト

1. プロジェクト名は、簡潔かつ具体的な表現で、**30文字以内**でご記入下さい。
2. プロジェクト概略は、**80文字前後**で簡潔にご記入下さい。
3. 活動場所は、施設名、屋外フィールド、市町村、地域等を具体的にご記入下さい。

B. 助成金希望額

1. 助成金希望額は一律 100 万円ではありませんので、お申込プロジェクトの計画に合わせてご算定下さい。単位は万円(万円未満は切り捨て)です。
2. 助成金希望額は、各年度の収支計画「当財団からの助成金収入額」及び「当財団からの助成金による支出合計額」と一致させて下さい。

C. プラットホームメンバー

【代表者】

1. 氏名にはフリガナをお付け下さい。**捺印**も必要です。プロジェクト内の役割をご記入下さい。
2. 所属団体、役職、E-mail、携帯電話をご記入下さい。該当のないものについては、「なし」とご記入下さい。
3. 住所には**郵便番号**を付けて下さい。また、枝番地、マンション名等も正確にご記入下さい。

【責任者】

1. 当財団から連絡をする場合の窓口をご担当される方です。申込書の記載内容、プロジェクトの全体を十分に把握しており、全般的責任を担う方をご記入下さい。また、当財団からの郵便物の送付先となります。氏名にはフリガナを付けて下さい。また、プロジェクト内の役割もご記入下さい。
2. 所属団体、役職、E-mail、携帯電話をご記入下さい。該当のないものについては、「なし」とご記入下さい。
3. 住所には**郵便番号**を付けて下さい。また、枝番地、マンション名等も正確にご記入下さい。

【主たるプラットホームメンバー及びプラットホームメンバー】

上記をご参照の上、ご記入下さい。

尚、主たるプラットホームメンバー3名については、連絡先(E-mail・携帯電話)の記載が必要です。

D. 申込プロジェクト

1. “地域をつなぐ”プロジェクトとは〈・概要(背景、「問題点」)〉
「概要」には、プロジェクトを取り囲む地域的事業や社会的状況などの「背景」を踏まえてご説明下さい。
また、プロジェクトを推進する際の「問題点」についてもご説明下さい。
2. プロジェクトに込める想い〈・意気込み・理由〉
プロジェクトに込める想いには、プロジェクトに取り組む「意気込み」、プロジェクトを立ち上げようと思いついた「理由」等を述べて下さい。

3. プロジェクトが提起する取り組み、「問題点」の解決方法 く・取り組み ・「問題点」の解決方法)
「取り組み」、『「問題点」の解決方法』には、上記(1.“地域をつなぐ”プロジェクトとは)の「問題点」を解決するために提起する取り組みやアイデアをご説明下さい。その場合、従来の取り組みには見られない「斬新な点」、「独創的な点」をご説明下さい。
4. プロジェクトが生み出すもの く・成果 ・展望(目標))
「成果」には、「問題点」を解決することで地域社会にどのような効果を生み出すのかをご説明下さい。その効果は社会的課題に「対応する」に留まらず、広く市民や地域社会に新しい時代を提起する意欲的なものを期待します。また、「展望(目標)」にはプロジェクトの将来像を述べて下さい。
5. プロジェクトが推進するネットワークのイメージ
ネットワークのイメージには、プラットフォームメンバーや現場スタッフがそれぞれの役割を担いながら相互に連携をとり、プロジェクトを推進するために、どのようにネットワークを組み立てて組織運営していくのかを図示して下さい。ネットワーク図においては各役割のグルーピングを行うと共に、それぞれの役割を明記願います。また、ネットワークが目指すゴールをお示し下さい。

E. アウトリーチ活動

秋山財団の設立趣意書には、「生命科学の振興と地元の人材育成及び地域産業の振興に貢献するとともに、道民福祉の向上に寄与したい」と明記されており、道民との積極的なコミュニケーションを図るプロジェクトを支援します。

プロジェクトがこれまで実施した「アウトリーチ活動」と、プロジェクトが持っている可能性を基に「地域の多様な市民」を対象に実施する今後の「アウトリーチ活動」の計画をご説明下さい。

詳細は、財団ホームページ“秋山財団からのお知らせ”にて当財団がこれまで実施した「アウトリーチ活動」の事例をご紹介しますのでご参照下さい。また、ご相談のある方は、財団事務局へお気軽にご連絡下さい。

贈呈式は、秋山財団の事業の集大成として行われる大切な場と位置付けております。受賞者、受領者はもちろん、財団理事・監事、評議員、選考委員の他に賛助会員、歴代の財団関係者、大学関係者、ご来賓、そして市民の方が参加する秋山財団最大の「アウトリーチ」の場です。ちなみに2015年度贈呈式には、延べ500人を超える方にご参加頂きました。その様子を当財団ホームページに動画・写真にて掲載しておりますので、ご覧下さい。

※ 財団が行う「アウトリーチ活動」には、積極的に参加して頂きます。また、申込者が企画するアウトリーチ活動については、財団事務局が全面的に支援致します。

「アウトリーチ活動」とは

プラットフォームメンバーが取り組んでいるプロジェクトについて、特に小・中・高校生など若い世代や住民の方々と対話することで交流を深め、共感や支援の輪が広がるような活動のことです。この活動は“地域をつなぐ”プロジェクトの重要な実践的取り組みのひとつです。

F. 予定作業項目・到達目標

1. 予定作業項目には、2016年度から2018年度にプロジェクトとして実施する作業を、年度(4月～3月)の月別で箇条書きして下さい。
2. 到達目標には、上記の予定作業項目に対応させて、目標を箇条書きして下さい。

G. 2016年度収支計画

1. 収入、支出については、申込書記入時点で考えられる予定についてご記入下さい。
2. 「収入計画」には、各項目の内訳、金額、合計金額をご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。当財団からの助成金額は「B. 助成金希望額」欄で記入した金額と一致させて下さい。当財団からの助成金以外の収入は、予定で構いませんが、既に確定済みの収入については、内訳欄に(確定)とご記入下さい。
3. 「当財団からの助成金による支出」には、費目、内訳、金額、合計金額をご記入下さい。内訳については分かる範囲で、単価、数量、人数等の概数をご記入下さい。単位は、円です。
4. 「当財団からの助成金以外による支出」には、費目、内訳、金額、合計金額をご記入下さい。内訳については分かる範囲で、単価、数量、人数等の概数をご記入下さい。単位は、円です。

H. 2017年度収支概算(分かる範囲で、ご記入下さい)

1. 「収入概算」のうち「当財団からの助成金」は、「B. 助成金希望額」欄で記入した金額と一致させて下さい。「その他」には、自己資金・事業資金・寄附金・当財団以外からの助成金等について、予定金額を概数でご記入下さい。また、合計金額もご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。
2. 「支出概算」には、予定される費目とその金額、合計金額を概数でご記入下さい。単位は、**万円**(万円未満を切り捨て)です。

I. 2018年度収支概算

上記を参照として下さい。

【事前相談】

以上、ご説明しました申込書の記入等について、**事前相談**を受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さい。ご相談は、以下の TEL、FAX、E-mail のいずれかをお願い致します。

< ご参考 >

当財団ホームページに、これまでの「ネットワーク形成事業助成」について掲載しております。

ご参考までにご覧下さい。

尚、現在事業継続中のプロジェクトは以下の通りです。

【2013年度採択：4件】

- プロジェクト1「次のエネルギー社会を担う人を生み出すエネチエン支援塾」
- プロジェクト2「ハッカの香るまちづくり ～ 地域の伝統的農産物を後世に伝えよう ～」
- プロジェクト3「ともにつくろう！江別から発信 食文化の創造」
- プロジェクト4「高校生による被災地とのネットワーク形成」

【2014 年度採択 : 1 件】

■プロジェクト 5 「大地といのちをつなぐプロジェクト(LoCoTAbLe)」

【2015 年度採択 : 4 件】

■プロジェクト 6 『厳冬期の災害に向き合い、「地力(ちぢから)」の向上でいのちを護る』

■プロジェクト 7 『「生きづらさ」を原動力に「生きること」の意味を再発信！』

■プロジェクト 8 「北の高校生会議」

■プロジェクト 9 「明日のニセコエリアの礎は私達が創る“本物の農”の営みから！」

〒064-0952 札幌市中央区宮の森 2 条 11 丁目 6 番 25 号

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団 事務局

TEL: 011-612-3771

FAX: 011-612-3380

E-mail: office@akiyama-foundation.org

<http://www.akiyama-foundation.org>

※ 次ページにアンケートがあります。ご協力下さい。

